

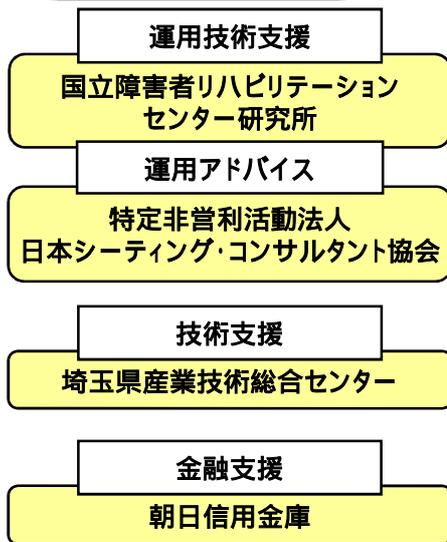
| | | | | |
|------|-------------|-------|------------|--------------|
| 地域 | 東京都台東区 | 認定日 | 平成22年2月22日 | 3 - 21 - 169 |
| 事業分類 | 製造(電気・情報機器) | テーマ分類 | 健康・福祉 | |

事業名: 小型ジャイロ傾斜計を用いたシーティング計測器の事業化

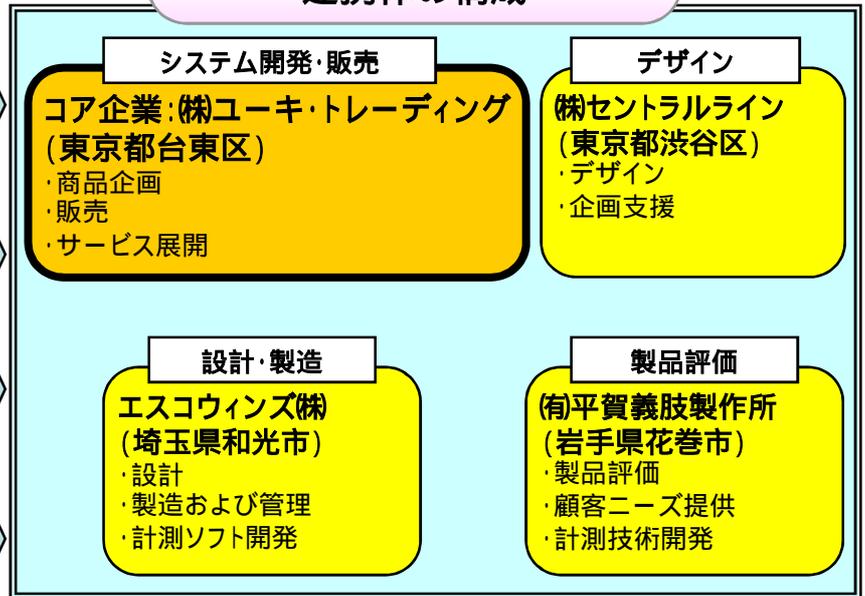
事業概要(新規性、市場性等)

- ・車椅子に正しい座位姿勢を保つ「シーティング」の重要性が認識され、寝たきり老人の減少に効果を上げつつあり、ISO16840も制定された。しかし有効な姿勢計測装置がなく、あてがうクッション選択も経験依存であった。数値情報を提供するジャイロを利用した手軽な計測器を介護現場に提供するもの。
- ・着衣の上から、腸骨等の骨突起部計測ポイント(ランドマーク)に2本の計測器の突端を指示し、身体各部の傾斜を図る。電池駆動・数値液晶表示・メモリーカード等のポータブルでパソコンによるデータ処理を可能にしている。三次元での座位姿勢計測により、車いすの背・座角度、クッションの種類・調節・配置場所等を適切に選定、適合を可能に、また、この条件を随時再現することを可能にする。
- ・理学療法士・作業療法士・義肢装具士・介護支援専門者等のセラピスト約14万人の日常的なツールとして介護現場での日常使用が期待されている。日本シーティング・コンサルタント協会等との運用研究も開始されている。

事業推進体制



連携体の構成



支援予定メニュー

補助金
特許料減免

